

旭市消防本部



しんぼうだより 第21号

2025年度全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

第21回防火ポスターコンクール

最優秀作品(旭市長賞)紹介 主催 旭市消防本部 共催 旭市危険物安全協会



干潟小学校
4年生 矢内 恭輔 さん



中央小学校
5年生 青柳 柚希 さん



干潟中学校
1年生 栗栖 明日香 さん



第一中学校
2年生 鷺山 海咲希 さん



旭市消防長
常世田 昌也

しょうぼうだより第21号の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

市民の皆様をはじめ関係各位におかれましては、平素から本市消防行政の発展並びに火災予防につきまして格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨今、消防を取り巻く環境は大きく変化し、林野火災をはじめとする大規模火災や地震、津波そして大雨による災害など様々な災害が発生しております。

また、災害の頻発化、激甚化、複雑多様化、そして、超高齢化社会に向かって救急の需要がますます増加しております。これらに対して、消防に寄せられる期待は、年々高まっております。

このような状況の中で我々は、迅速かつ的確に対応するため、地域防災の中核である消防団をはじめ、市町村、警察、自衛隊などの関係機関と緊密に連携を図り、事業所また市民の皆様と共に防災意識を高め、備えに万全を期すことが消防の任務であります。そして、さらなる消防防災体制の充実強化を図るべく、人材の育成強化、災害への対応力強化、消防サービスの向上に日々努めてまいります。

また、市民一人ひとりの協力が不可欠でありますので、火気の取り扱いや電気器具の正しい使用などの火災予防や救急車の適正利用、緊急な方へ一分一秒でも早く緊急車両を届けるため、緊急車両接近時には進路を譲っていただきますよう、今一度ご理解とご協力をお願いいたします。

我々消防職員が一丸となって、市民の安全と安心を守り、皆様の負託に応えられるよう職務に邁進してまいりますので、今後とも消防行政に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

消防関係表彰受章者の紹介

正七位

瑞宝単光章 (故)宮崎 修司 さん

昭和46年4月に旭市外三町消防組合消防士として拝命されました。生前中は、消防本部発展のため、豊なる包容力と実行力旺盛な責任感をもって、職員の指導育成や資質向上に尽力されました。

また、地域住民の生命、身体及び財産の保全のため、我が身を惜しまず献身的に貢献されました。

令和7年 火災統計

地域別火災発生件数

(令和7年1月~令和7年12月)

地域別 種別	計	旭地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域
出火件数	34	24	5	2	3
火災 種別	建物	17	11	4	2
	林野				
	車両				
	船舶				
その他	17	13	1		3
死者数	2	2			
負傷者数	5	2	1	2	
損害額(千円)	42,772	14,431	22,661	5,680	0

※損害額については概数です。

令和7年 救急・救助統計 (令和7年1月~令和7年12月)

地域別救急出動件数

地域別 種別	計	旭 地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域	管外
出動件数	3,269	1,967	423	476	345	58
火災	28	18	3	7		
自然災害						
水難事故	10	5	1	4		
交通事故	277	153	34	30	55	5
労働災害	37	18	5	6	8	
運動競技	16	7	1	5	3	
一般負傷	419	254	45	76	38	6
加害	15	11		3	1	
自損行為	39	19	5	8	6	1
急病	2,313	1,398	313	328	229	45
その他	115	84	16	9	5	1

救助出動件数

種別	区別	件数	死者数	負傷者
計		67	10	61
交通事故		28	1	41
水難		4	3	
建物等による事故		10	0	9
機械等による事故		1	1	
その他		24	5	11

冬のストーブ

【1メートル】ルール

冬はストーブ周りの「うっかり」が原因で火災が発生しやすくなっています。
 布団・紙袋・カーテンなどの可燃物はストーブから1メートル以上離しましょう。



可燃物がちょっとしたはずみでストーブに触れると火災になる恐れがあります。



周囲1メートルには何も置かない。
 家庭のルールとして守りましょう。

洗濯物は干さない!

ストーブの近くに洗濯物を干すと、洗濯物がストーブに落ちて火災になる恐れがあります。

給油時は必ず消火!

ストーブを消火してから給油しないと、灯油がこぼれた際、火災になる恐れがあります。

ストーブチェックリスト

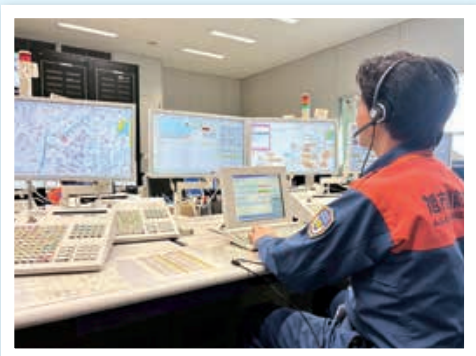
- ストーブ周囲1メートルに燃えるものを置かない。
- ストーブの近くに洗濯物を干さない。
- ストーブを消火してから給油する。
- 寝る時や出かける時は消火する。



消防では、どのような無線機を使用しているか知っていますか？

無線機は、ちば消防共同指令センターや災害現場などで使用されます。

ちば消防共同指令センター



119番受付、出動指令、災害現場との無線交信などを行う。

災害現場



遠隔制御器



旭市消防本部に設置、出動隊との無線交信に使用します。

可搬型移動局無線装置



災害現場で現場指揮本部が使用する可搬型の無線装置です。

卓上型固定移動局無線装置



旭市消防本部に設置され、ちば消防共同指令センターとの無線交信に使用します。

車載型移動局無線装置



消防車、救急車などの緊急車両に搭載され、ちば消防共同指令センターや出動隊との無線交信に使用します。

携帯型移動局無線装置



消防隊員が災害現場で使用する無線機で、ちば消防共同指令センターや出動隊との無線交信に使用します。

署活系無線機



災害現場において消防隊員同士で無線交信する際に使用します。

「マイナ救急」が始まっています



注目!



マイナ救急とは？

救急隊員が傷病者のマイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）から、傷病者の医療情報などを把握し、円滑に医療機関に搬送する取り組みのことです。

★マイナ保険証を見せるだけで以下の情報が伝わります。



- ・傷病者の説明負担が軽減されます。
- ・より適切な処置が受けられます。



マイナ救急の現場活動イメージ



① マイナ保険証を使用し、傷病者の医療情報を専用機械で読み取る



② 医療情報を搬送先病院と共有し、救急車内での処置に活用する



③ 搬送先病院でより迅速に、適切な処置を受けられる



よくあるご質問



Q. 救急隊員はマイナンバーカードの登録情報を全て見ることができるの？

A. 救急隊員が閲覧できるのは、氏名や住所などのマイナンバー上に記載されている情報のほかに、病院の受診履歴や薬剤情報といった医療情報だけです。

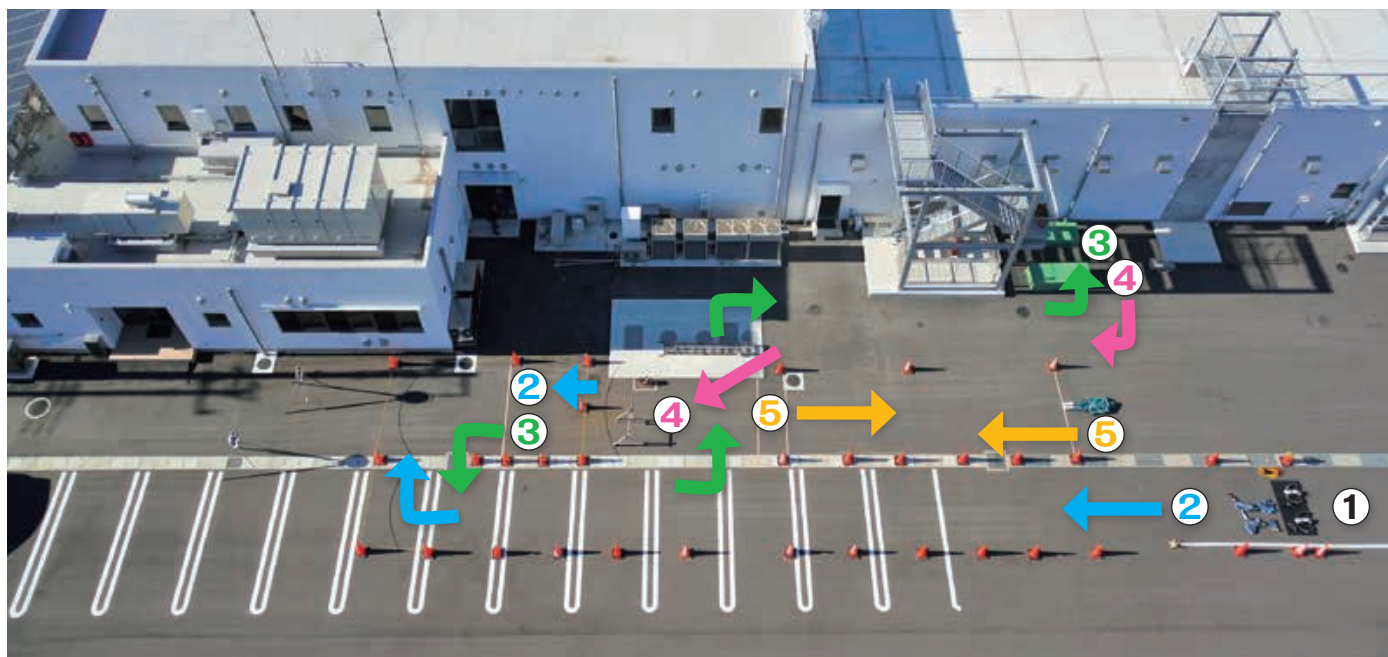


事業に関する情報は消防庁HPでもご覧いただけます。

令和7年度 警防活動技術千葉県大会に出場しました!

警防活動技術千葉県大会とは、安全を第一とした中で迅速・確実に災害対応を行うために、日頃、訓練している基本的な警防技術を交換するために披露し、警防活動に必要な技術の向上を図ることを目的として千葉県消防学校で実施されます。

今年度は令和8年1月23日に実施され、署内選考会で選ばれた代表チームが日々の訓練を披露しました。



①空気呼吸器装着



火災等の災害現場において、呼吸に必要な空気を供給するための器具を素早く装着します。

②放水活動



長さが20mあるホースを延長して、火災等の被害を最小限に抑えるため、1秒でも早く放水します。

③高所進入活動



三連式の梯子を伸ばし、高い場所へ進入します。災害現場の状況に合わせて必要な器具をロープで引き上げます。

④破壊活動



要救助者が閉じ込められた場合等に切断器具を使用して、障害物を切断・除去します。

⑤要救助者搬送



空気呼吸器のマスクを着装、隊員間をロープでつなぎ、要救助者を救出して、いち早く安全な場所へ搬送します。

旭市消防本部の新しい防災拠点を紹介します！

旭市消防本部の新しい防災拠点の名称は「東部分署」です。東部分署は旭市を守る新しい防災拠点として完成し、令和7年4月から運用が開始されました。



エントランス



各種申請の受付や打ち合わせなど多目的スペースとして活用します。

会議室



救命講習や団員研修、職員研修などの学習・研修の場として使用します。

仮眠室



個室の仮眠室が備えられ、プライバシーに配慮しています。

女性専用スペース



女性職員活躍のため、施設・設備も充実し、安心して働くことができます。

トレーニングルーム



災害現場に必要な体力を養うために筋力トレーニングに必要な器具を設置しています。

放水壁



壁へ放水した水は敷地内の訓練用貯水槽へ循環するため、水を無駄にすることなく、訓練ができます。

訓練用連結送水管



火災が起きた時に消防隊が消火活動を行うため、高いビルや地下街に設置されている設備が訓練で使用できます。

高所訓練施設



ロープを使用した進入や脱出、梯子を使用した活動などを想定した訓練をします。



市民の皆様の安全と安心を守るために、日々の訓練や災害活動への備えに全力で取り組んでいきます。

旭市消防本部 特別救助隊



特別救助隊は日々訓練を重ね、令和7年5月22日に開催された千葉県救助大会にて優秀な成績を収めました。

ロープブリッジ救出 県大会 5位入賞



水平に張られたロープを渡り要救助者を救出する訓練

紹介動画



ロープ応用登はん 県大会 6位入賞



2人1組で協力して高さ15メートルまでロープを登る訓練

紹介動画



水難救助訓練



高所救出訓練

私達は、水難救助や梯子車を使用した高所救出に加え、多様な災害に対応するための実戦的訓練を継続的に実施しています。

わがまちの消防団員紹介

第1中隊 副分団長 高野 詔平

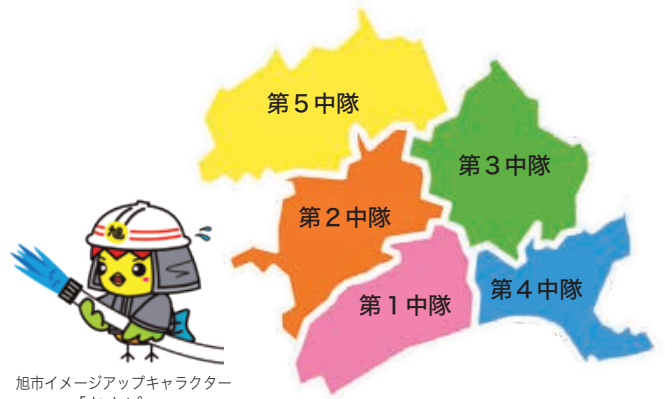


10年ぶりに消防に携わる事になりました。

団員減少の中で地域のため奮闘する仲間の姿に、消防団の重要性を再認識した次第です。

これまでの経験を活かし、火災や災害対応などを通じて、未熟ではありますが地域のために尽力いたします。

今後ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



旭市イメージアップキャラクター「あさびー」

第2中隊 分団長 鍋木 裕太郎



こうして消防団活動を続けていられるのも周囲の方々のおかげです。

日頃からご理解ご協力をいただいている家族や消防団関係者、地域の方々に感謝申し上げます。

有事に備え、これからも消防活動に励んでいきます。

今後とも消防団へのご支援ご協力をお願いいたします。

第4中隊 中隊長 土屋 賢



この度は、千葉県知事功労章という栄えある章をいただき、身に余る光栄です。

入団から23年、地域の安全安心を守る一心で活動を続けてまいりました。今日があるのは、共に汗を流した最高の仲間達や、家族の理解、そして地域の皆様のご理解、ご協力があったからこそと深く感謝しております。今回の受章を励みに、これからも郷土の守り手として、そして人と人との繋がりを大切に、より一層精進してまいります。

今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

第3中隊 中隊長 嶋田 勉



消防団歴20年の節目に千葉県知事功労章という名誉ある章を頂き、大変光栄に思います。

現在は中隊長として多くの団員を統率する立場となりましたが、団員が訓練や災害活動に対しやりがいを感じ、消防団が地域貢献していることを実感してもらえよう、環境・体制整備に尽力して参ります。

近年では大規模な自然災害や山林火災も全国各地で発生しており、旭市消防団としても「我々なら、どう動くか？」を常に意識しながら、地域住民の安全安心に貢献できるよう、消防団活動を行ってまいります。

第5中隊 副分団長 吉田 圭一郎



日頃より消防活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

先日の青森県で発生した地震は、東日本大震災を思い起こさせる出来事でした。火災以外の重大被害も増えてきている中、消防団の活動が地域の皆様の暮らしと安全を守る誇りある活動と再認識し、今後の活動を行ってまいります。



消防団活動日誌



消防団視察研修

令和7年11月16日(日)～17日(月)、消防団視察研修を行い、神奈川県厚木市の総合防災センターなどを視察しました。消防機材の歴史的発展の様子や、防風・地震体験を行い、参加した団員全員が、東日本大震災を想定した震度7の揺れを体験し、災害対策の大切さを改めて感じました。



消防団啓発活動

旭市消防団では、毎年、旭市いいおか YOU・遊フェスティバルやあさひオータムジャンボリーにブースを構え、消防団勧誘のためのチラシ配布や、小さなお子様連れ向けの啓発グッズ配布、消防車への試乗体験や防火服・ヘルメットのコスプレ体験など、イベント来場者とふれあいながら、啓発活動を実施しております。

お見掛けになりましたら、ぜひお立ち寄りください！



あなたも消防団に入りませんか？

地域の安全・安心を守るため、消防団に参加してみませんか？
消防団の活動は、日ごろの訓練だけではなく、地域の方々や子ども達とのふれあいなど、楽しい活動もたくさん！！

興味のある方は、お誘い合わせの上、是非お問い合わせください！

【入 団 資 格】 ・旭市内に在住または在勤している方
・18歳以上の心身ともに健康な方（男女問わず）

【お問い合わせ】 旭市消防本部 総務課 消防団班 Tel. 0479-63-5355





旭市消防団
団長 加瀬 一雄

令和8年団報あさひの発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まず、市民の皆様方には、日頃より消防団活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。近年の酷暑、集中豪雨、大型化する台風など、ますます異常気象の影響が増加し、消防団に対するニーズの高まりを感じつつ、日々活動に邁進しております。そうした環境の変化に関連し、我々旭市消防団も、これまで以上に人員確保の必要性を感じ、各地域の皆様のご理解とご協力の下、消防団への参加を呼び掛けている次第です。

熱心な勧誘活動の甲斐もあり、かねてより啓発しておりました女性団員の入団希望者が増加し、今年度は女性消防団員が6名所属となりました。

今後の消防団活動は、火災や災害の現場だけではなく、高齢者世帯への防火訪問、事業所や学校等への防火指導など、より地域に対して重要な役目を兼ねていく可能性が高いと考えます。旭市の人口は約3割が高齢者となり、これまで以上に高齢者に対する手厚い支援が求められる時代となりました。消防団におきましては、総員約700名の知恵と経験を活かし、これまで以上に地域の皆様と連携して地域の一助を担えればと考えています。

令和7年7月30日にカムチャッカ半島付近で発生した地震の影響で、遠く離れた旭市にも津波注意報が発表されました。市民の皆様による自主的避難と消防署・消防団連携による呼びかけにより、大きな被害もなく対応することができました。これも先の東日本大震災を教訓とし、日頃から防災・予防を意識していた市民一人一人の心構えの賜物と考えます。また、消防団としても、避難訓練及び災害予防の啓発を行っていくことの大切さを再認識した次第です。

市民の皆様方には、ご理解ご協力をいただきながら、消防団員一同、安全・安心なまちづくりに貢献すべく日々の活動に従事する所存です。皆様方からのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

令和7年度 旭市消防団訓練指導会



旭市イメージアップキャラクター
「あさピー」



今年は毎年恒例の操法訓練のかわりに新しく「**実戦消火訓練**」を行ったよ。

この訓練は、実際の火災現場を意識して、すばやく火点を倒すことを想定した訓練なんだ！

令和7年6月8日には、訓練の成果をお披露目する訓練指導会が開催され、各チーム工夫を凝らした演技が披露されたよ！

消防団員を応援しませんか？

「消防団サポート店」を
大募集!!



←サポート店の
詳細はコチラ

サポート店って
なあに？

どんなお店が
協力しているの？



旭市イメージアップキャラクター
「あさピー」

